

# 令和7年度乳児保育研修開催要項

## 1 目的

乳児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。  
**【キャリアアップ該当研修】**

2 実施主体 山口県

3 実施機関 社会福祉法人山口県社会福祉協議会

4 対象者 県認可の保育所、幼保連携型認定こども園、保育所型認定こども園及び地域型保育事業所職員

※平成29年度以降に本研修(eラーニング研修を含む)を修了したことがない方で、15時間の受講及びレポートの提出ができる方とします。

5 定員 各回150人

## 6 日時、内容、演題及び講師

日程		時間	内容	演題・講師
第1回	第2回			
11月10日(月)	11月17日(月)	8:20~ 8:50	受付	
		8:50~ 9:00	開講・オリエンテーション	
		9:00~17:30	・乳児保育の意義 ・乳児保育の環境 ・乳児への適切な関わり	【講義・演習】 「脳科学で学ぶ乳児の発達と適切な関わりについて」 【講師】 (元)九州女子大学 教授 (現)九州女子大学・九州女子短期大学 非常勤講師(教授相当) 乳幼児教育アドバイザー・デジタルクリエイター いまづ しょうこ 今津 尚子 氏  (12:00~13:00 昼食・休憩)
		17:30~17:45	アンケート記入	
11月13日(木)	11月18日(火)	8:30~ 8:50	受付	
		8:50~ 9:00	オリエンテーション	
		9:00~17:30	・乳児の発達に応じた保育内容 ・乳児保育の指導計画、記録及び評価	【講義・演習】 「乳児とその家族に最善の保育を」 【講師】 九州産業大学人間科学部 教授 しみず ようこ 清水 陽子 氏  (12:00~13:00 昼食・休憩)
		17:30~17:45	アンケート記入・閉講	

7 会場 YMfg 維新セミナーパーク 一般研修棟 大研修室

## 8 受講料

500円

※受付の際に徴収いたします。

## 9 申込手続

### (1) 申込方法

「山口県社会福祉協議会 福祉研修センター」のHP (<https://yg-fkc.com>) からマイページにログインし、該当研修の申込フォームからお申込みください。

※1 事前に保育園単位での「事業者登録」が必要です。(既に登録済みの場合は不要)

※2 各回1施設1人まで

※3 申込に当たり、保育士証に記載されている氏名が結婚等で変更された場合は、直ちに保育士証書換え交付申請書を当該研修が終了するまでに保育士登録機関である登録事務処理センター(〒102-0083 東京都千代田区麴町1-6-2、Tel.03-3262-1080)で申請手続をお願いします。

※4 申込状況はマイページ上で確認できます。

### (2) 申込受付期間

令和7年9月22日(月)～令和7年10月13日(月)

※上記期間以外の申込は受け付けません。

### (3) 受講決定

受講の可否は、申込受付期間終了後、速やかに事業所登録されたメールアドレスに通知します。定員超過等で受講をお断りする場合も同様です。

### 「eラーニング研修」の実施について

保育士等キャリアアップ研修(全7分野)については、より多くの方に研修の機会を提供するため今回御案内のような集合研修に加え、eラーニングによる研修も同様の7分野で実施しています。

なお、集合研修とeラーニング研修の同一分野の研修を重複して受講することはできません。

このため、今年度の乳児保育のeラーニング研修を受講中の方(申込済の方も含む)は、今回の申込はできませんので御留意ください。

## 10 個人情報の取扱い

申込フォームに記載された個人情報は、研修会の運営管理のみに使用します。

## 11 食事・宿泊(宿泊は第2回の10月17日のみ)

(1) 昼食は、各自で準備するか併設の食堂を利用してください。

(2) 山口県セミナーパーク併設の宿泊室を利用することができます。

※1 原則1室2人 宿泊料1,520円

※2 宿泊をキャンセルする場合は、研修前日の午後5時までにお問い合わせください。それ以降のキャンセルは、宿泊料を請求します。

(3) 宿泊時の夕食・朝食を利用する場合は、3日前までに予約をする必要がありますので、宿泊者が直接セミナーパーク食堂(083-987-3310)に電話してください。キャンセルの場合も同様です。

## 12 その他

(1) 自然災害等のやむを得ない事由により研修を開催できない場合は、前日の午後3時までにHP(<https://yg-fkc.com>)に記載しますので、前日に必ず確認してください。

(2) 欠席される場合は、研修前日までに必ず連絡してください。

(3) 研修当日に、発熱や体調が悪い場合は、研修への参加を控えてください。

(4) 遅刻する場合は、速やかに連絡してください。



13 申込・問合せ先

社会福祉法人山口県社会福祉協議会 福祉研修部(福祉研修センター)

担当：岡村

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (YMfg 維新セミナーパーク内)

TEL：083-987-0123 FAX：083-987-0124

14 修了証の発行や処遇改善加算に関する問合せ先

山口県健康福祉部こども・子育て応援局

こども政策課 保育・母子保健班 担当：<sup>えきだ</sup>嶺田

TEL：083-933-2747 FAX：083-933-2759

15 会場周辺図

<YMfg 維新セミナーパーク>

所在地：〒754-0893 山口市秋穂二島1062



- ・中国自動車道小郡 I.C. から車で約20分 (10.7 km)
- ・山陽自動車道山口南 I.C. から車で約7分 (3.5 km)
- ・新山口駅から車で約15分 (8.5 km)
- ・四辻駅から車で約5分、徒歩で約30分 (3 km)

## ◆今津 尚子 (いまづ しょうこ)

- 〈所属〉 (元)九州女子大学 人間科学部 児童・幼児教育学科 教授  
(現)九州女子大学・九州女子短期大学 非常勤講師(教授相当)  
乳幼児教育アドバイザー・デジタルクリエイター  
北九州市立大学大学院 社会システム研究科博士課程地域コミュニティ専攻  
単位取得後満期退学  
専門：社会学・児童福祉学・乳幼児教育学・絵本学
- 〈代表著書・論文〉
- ・「ともに育ちあう保育者をめざして」共著 ミネルヴァ書房 2017年3月
  - ・「共に育つ保育を探求する 保育内容総論」共著 建帛社 2019年2月
  - ・「哲学的な考えをいかす 新・保育原理」共著 教育情報出版 2024年2月
  - ・「東アジアにおける幼児教育・子育ての実態に関する研究」共著 日本・中国幼児教育国際共同報告書 共著 2022年3月 (国際シンポジウムにて発表)
  - ・「私の大切な絵本の思い出」ART×絵本×ICT 保育・保育者養成プロジェクト科研費 2021年
  - ・「子育て意識に関する社会文化論的分析について」共著 ・保育者養成における「アクティブ・ラーニング」を用いた教授法—保育内容「健康」を事例として— 単著 ・絵本がつなぐ地域連携—「九州女子大学絵本の森の研究会」の活動を事例として— 単著 ・地域連携保育について—新幼稚園教育要領 新保育所保育指針の改訂(定)を踏まえて—共著 等
- 〈経歴〉
- ・北九州市立 千防保育所・研修所併設モデル園(新設) 保育士
  - ・北九州市立 東筑保育所(新設) 主任保育士
  - ・社会福祉法人 旭ヶ丘保育園・済美保育園 主任保育士
  - ・公立保育所民営化 さんろくこどもえん(新設) 園長
  - ・公立保育所民営化 初音保育園(新設) 園長
  - ・園長業務 兼 非常勤講師(2010年4月~2016年3月)  
九州女子大学、九州女子短期大学、東筑紫短期大学
  - ・保育園：理事及び乳幼児教育アドバイザー・リトミック講師
  - ・幼稚園：監事・理事及び苦情処理第三者委員 ・リトミック講師
  - ・北九州市保育事業協会評議員
  - ・日本保育学会：広報協力委員、全国大会実行委員、ポスター発表座長
  - ・講演活動：保育関係機関・子育て支援・男女共同参画市民講座・中学、高校生対象出前講座・市民センター各講座・シニア塾等で講演・市民カレッジ講師
  - ・乳幼児メディアアドバイザー・子ども支援士(学校教育支援・アフタースクール)
  - ・不登校児カウンセリングアドバイザー
  - ・九州女子大学絵本の森研究会主宰者(名誉顧問 絵本作家 長野 ヒデ子氏)
- 〈受賞歴〉 ・絵本の日アワード in Fukuoka エピソード大賞受賞
- 〈社会活動〉 ・月間書評誌「子どもの本棚」新刊絵本紹介 日本子どもの本研究会  
・「絵本モニターによる平和と絵本」書評 絵本学会  
・(元)ローカルラジオ「エアーステーションヒビキ」メインパーソナリティ

## ◆ 清水 陽子（しみず ようこ）

### 【所属】

九州産業大学 人間科学部 子ども教育学科 教授

### 【学歴・職歴】

昭和 63 年 3 月 福岡教育大学大学院教育研究科修士課程学校教育専攻 修了（教育学修士）

平成 23 年 3 月 甲南女子大学大学院人文科学総合研究科博士後期課程心理・教育学専攻人間教育学コース 修了（博士（人間科学））

約 25 年間、西南女学院大学短期大学部保育科、九州女子短大等で保育者養成に携わった後、九州産業大学の子ども教育学科開設準備のために着任し、現在に至る。

### 【主な著書】

『健康(実技・実践編)』共著 三晃書房 平成 2 年 4 月

『子供の人権大辞典』共著 エムティ出版 平成 9 年 9 月

『ワークシートで学ぶ保育所実習 1・2・3』共著 同文書院 平成 20 年 6 月

『遊び・生活・学びを培う教育保育の方法と技術 一実践力の向上をめざして一』共著 北大路書房 平成 21 年 6 月

『日本人保姆第一号豊田英雄と草創期の幼稚園教育』共著 建帛社 平成 22 年 3 月

『乳幼児の教育保育課程論』共著 建帛社 平成 22 年 3 月

『ともだちだいすき、保育園だいすきー柳瀬保育園の保育実践と計画づくりー』共著 みき書房 平成 25 年 12 月

『保育実践に生かす保育内容「環境」』共著 保育出版社 平成 26 年 3 月

『私たちの指導計画 2016 0.1.2 歳児』共著 全国社会福祉協議会 平成 27 年 3 月

『保育者の理論と実践ーともに育ちあう保育者を目指してー』共著 ミネルヴァ書房 平成 29 年 3 月

『保育実習ガイドブック』共著 ミネルヴァ書房 平成 29 年 4 月

『共に育つ保育を探究する保育内容総論』共著 建帛社 平成 30 年 3 月

『子ども中心の実践に学ぶ保育内容総論』共著 建帛社 令和 5 年 3 月

### 【主な論文】

- ・「保護者の子ども理解とパートナーシップを生み出す保育内容の発信方法に関する一考察ーニュージーランドの幼児教育観察とインタビュー調査を中心にー」清水陽子、黒田秀樹 九州産業大学基礎教育センター研究紀要 7 号 P.1~P.10 平成 29 年 2 月
- ・「2019 改訂ヌリ課程の研究ー韓国幼児共通教育課程はどう変わったかー」新井美保子、清水陽子、吉田真弓、キムヒジョン、丹羽孝愛 知教育大学研究報告第 72 輯（教育科学編）2023. 3、pp.1-9
- ・「韓国のオリニジップ評価制の研究ー2019 オリニジップ評価マニュアルの分析からー」愛知教育大学教職キャリアセンター紀要第 8 号、2023. 3、pp.121-128 新井美保子、清水陽子、矢藤誠慈郎、吉田真弓

★現在、科学研究費助成事業(24K05827 研究代表 清水陽子)により、韓国幼児教育研究に取り組み、保育の質を向上させるための保育の評価や、子どもの教育的環境の在り方について研究しています。

### 【社会的活動】

福岡県キャリアアップ研修テキスト作成委員(平成 30 年 3 月まで)

日本保育学会 理事

★保育心理士講習会、保育士等キャリアアップ研修会講師、「保育の友」指導講師等、現場の保育者との学び合いの場から、保育者養成の活力を得ています。